

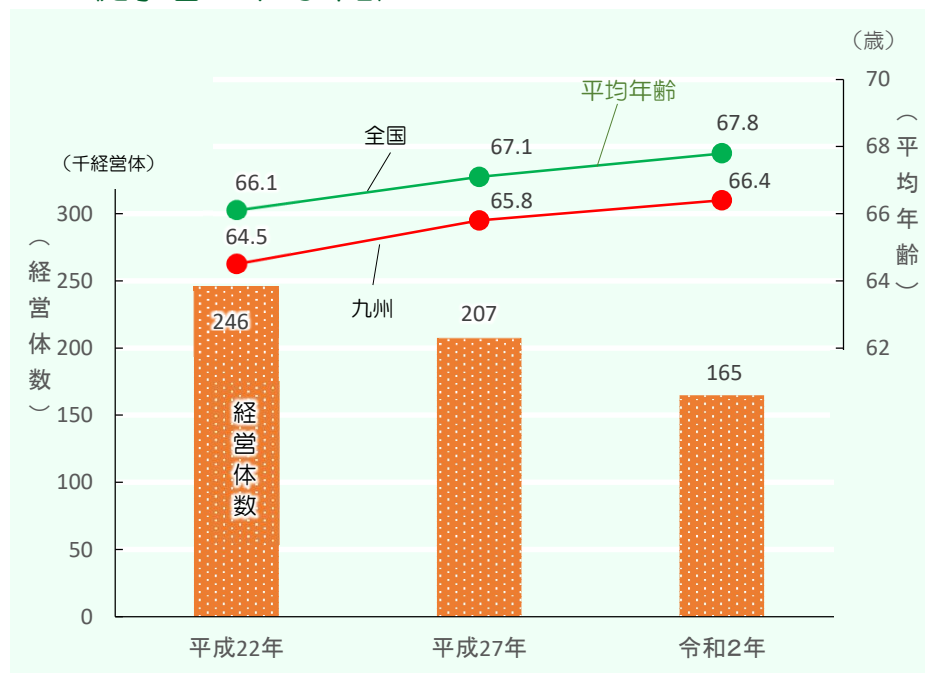
●農業従事者の高齢化や農業経営体の減少は続いています。

九州の農業経営体数は、平成22年から令和2年までの10年間で33%減少しています。また、主に農業に従事した者（基幹的農業従事者）の高齢化が進行しており、平均年齢では全国をやや下回るものの、65歳以上の占める割合が10年前から7ポイント以上増えています。

また、65歳以上の農業経営者の経営耕地面積が全体の半分以上を占め、そのうち後継者がいない経営者の面積割合が59%となっています。

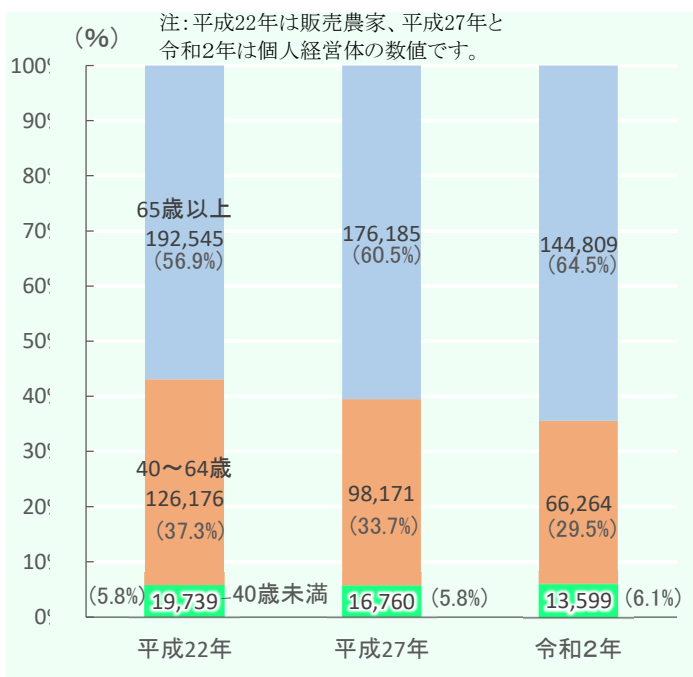
注：基幹的農業従事者の平均年齢は平成22年は販売農家、平成27年と令和2年は個人経営体の数値です。

●農業経営体数の推移（九州）及び基幹的農業従事者の平均年齢



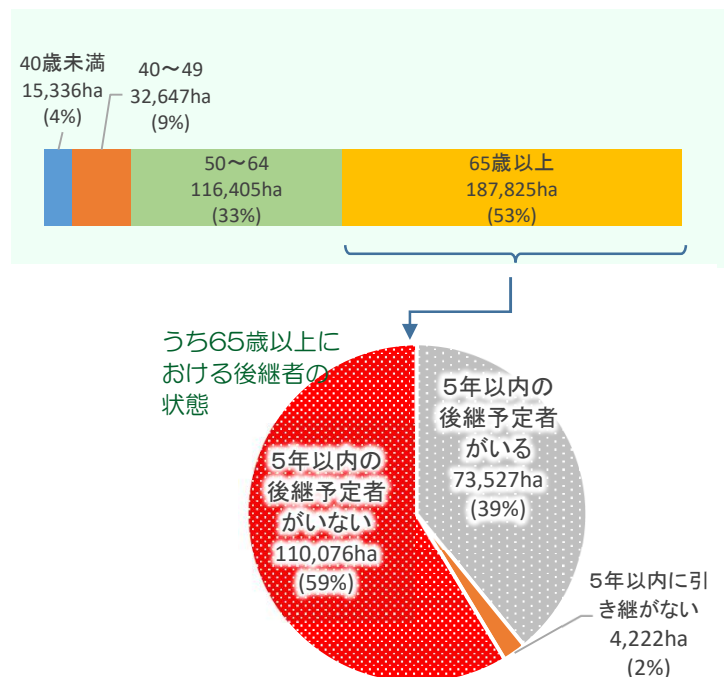
資料：農林水産省統計部「農業センサス」（以下同じ）

●基幹的農業従事者の年齢別構成割合の推移（九州）



注：四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合があります。

●農業経営者の年齢別経営耕地面積（九州）（令和2年）



※農業経営体とは...

農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭羽数が、一定の基準以上の事業を行う者をいいます。

※基幹的農業従事者とは...

個人経営体（平成22年までは販売農家）の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者（家事や育児が主体の主婦や学生等は含まない）をいいます。

※個人経営体とは...

農業経営体のうち、個人（世帯）で事業を行う経営体をいいます。なお、法人化して事業を行う経営体は含みません。